

新潟県生連

新潟県生活と健康を守る会連合会

〒950-0088 新潟市中央区万代1-2-6-403

TEL025-241-0288

<https://niigatakenseiren.iinaa.net/index.html>

一人はみんなのために
みんなは一人のために

知り合いに「守る新聞」をわたして 気軽に購読をすすめ 守る会を大きくして生きる希望と喜びを広げよう

暑さが厳しい毎日ですが、お元気でしょうか。

生活と健康を守る会は、年金や生活保護の引き上げ、介護保険や医療費の値上げを食い止め、憲法と平和を守る力を大きくし、自民党政治を終わらせ暮らしを守るために、全国大会の前日9月17日までに会員と「生活と健康を守る新聞」読者を増やす大運動をすすめています。

会員みなさんに、「お知り合いに新聞をおすすめください」と書いた帯封に入れて「守る新聞」見本紙をお届けします。是非、お知り合いに「見本紙」を見てもらい、購読をすすめていただきますよう、心から呼びかけます。会員みんなの力で、希望の持てる社会をつくりましょう。

小千谷守る会第23回総会

小千谷守る会では、7月10日に第23回総会を行いました。この1年、相談活動のほか春秋の集いを行い、会員の結束を深めてきました。総会の前には、「マイナンバーカード説明会」を開き、市の職員から説明を受けました。「手元の健康保険証は、いつまで使えるのか?」「ポイント欲しさにマイナ保険証を紐づけた人には、資格確認書が届かない。マイナ保険証を使いこなせず困る人が多く出てくるのではないか」などの質問が飛び出しました。



上越・役員会を定例会 会員30世帯に挑戦



上越市の人口は約18万人ですが、守る会の会員は7月末で17世帯と、少数精鋭でがんばっていました。青木新事務局長は役員会の定例会を決め、8月2日に役員会を行いました。困っている市民の声を聴き生活をよくするには、守る会が不可欠だとの認識を新たにしました。そして、全国大会までに30世帯を達成し代議員を派遣することにしました。

その後、平良木会長(上越市議)が地区委員会総会で訴え、3世帯3部拡大しました。

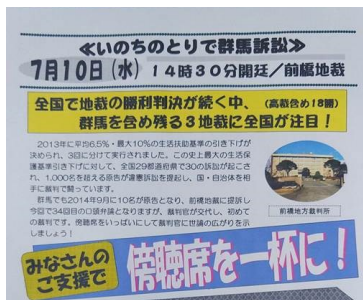
長岡・班会 顔をあわせて食事で、話も弾む



長岡生活と健康を守る会の上除(かみのぞき)班は、今年も県連で注文した小豆島のソーメンで「昼食会」を開きました。

先月に入会した女性を含め7人で班会です。副菜は班長宅で栽培の野菜にハム・唐揚げなどが添えられ食欲をそそります。口々に「おいしい」「茹でかたが上手」という声上がり、あっという間に完食です。

その後は班員同士の歓談、日頃感じている事や健康のことなどを自由に出しての話しあい。「マイナンバーカード」、カード未所持で紙の保険証が無くなったらどうなるか心配…。医療機関で窓口事務を行っている参加者が現在の活用状況やカードの仕組みについて説明、みんなで理解を深め合いました。その後も自身の健康の事、会の新たなお喋り会の事などを議論しました。



2013年にされた生活保護基準引き下げに対する裁判「いのちのとりで裁判」

群馬県内の原告が前橋地裁に控訴し、7月10日に34回目の口頭弁論が行われました。新潟県からは長岡守る会の2人が傍聴に駆け付け、傍聴席は満席でした。

☀️夏期募金へのご協力ありがとうございました☀️

募金の趣旨をご理解いただき、大きなご協力をありがとうございました。